



(写真) Shutterstock “ベネズエラの自動車市場の現状に関する統計データを紹介”

## ベネズエラの自動車市場

株式会社ベネインベストメント  
松浦 健太郎

**自** 動車産業の動向は、その国の経済の好不調を計る上でも重要な指標と言える。

2024年のベネズエラの自動車販売は、過去数年と比べれば好調で一定の経済回復を確認できている。

本稿では、一般公開されている自動車関連の統計情報(直近のブランド別の販売台数・自動車組み立て台数の推移・国内の自動車シェア)などを紹介し、直近のベネズエラ自動車市場の状況について確認したい。

24年の新車販売台数は17,558台

最初に直近の自動車(新車)販売台数について確認したい。

「ベネズエラ自動車商工会(CAVENEZ)」によると、2024年のベネズエラの年間新車販売台数は17,558台(平均で1,463台/月)だった。

CAVENEZは2023年の年間新車販売データを一般公開しておらず、前年との正確な比較ができないが、23年1~10月の新車販売台数は5666台だった([「ベネズエラ・トゥデイ No.993」](#))。

残り2カ月（11月、12月）も同じような販売状況だったと仮定して、23年の新車販売台数は約7000台だったと推測される。

つまり、2024年の新車販売台数は前年と比べて2倍以上に増えたことになる。

2024年の新車販売台数は以下の通り。

表： 2024年のブランド別新車販売台数

会社名	台数	割合
TOYOTA	7,114	40.5
JAC MOTORS	4,814	27.4
CHANGAN AUTO	1,698	9.7
FORD	1,002	5.7
FIAR	843	4.8
FOTON	678	3.9
HYUNDAI	569	3.2
CHRYSLER	414	2.4
KIA	129	0.7
その他	297	1.7
合計	17,558	100.0

（写真）CAVENEZ

なお、上記はCAVENEZのデータを引用したもので、一般的にはこの数字がベネズエラの年間新車販売台数として広く知られているが、CAVENEZのデータに入っていない新車販売もあると思われる。

マドゥロ政権は、イラン自動車メーカー「Saipa」「Iran Khodro (IKCO)」から不定期的に大量の新車を輸入しており、これらの自動車をマドゥロ政権が運営する「祖国システム」を通じて販売している。

確認できている範囲では、2023年1月にSaipaの新車1000台（車名「Saina」）、3月にIKCOの新車2100台（100台はトラック）を輸入（「[ベネズエラ・トゥデイ No.860](#)」「[No.887](#)」）。8月にもイランから新車1000台を輸入した（ブランド名は不明）。

また、2024年12月にSaipaの新車2000台（車名「Quick」）を輸入していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1158](#)」）。

確認できているだけでも2023年～24年中に6000台が輸入されている。

これらの数字を含めると実際の新車販売台数はもっと多くなるだろう。

## 24年の自動車組立台数は5,011台

次に自動車組み立て台数について確認してみたい。

実は自動車組み立て台数については数字が分かれており、不明瞭な部分があるが、その点も踏まえて紹介したい。

自動車組立台数の推移については、「ベネズエラ自動車部品商工会（Favenpa）」の公表している統計を確認されたい（次ページ、単位は1000台）。

グラフの通り、2000年代後半には年間の組立台数が10万台を超えていたが、故チャベス政権が国内産業育成、外貨割り当ての削減などを理由に、組み立て部品の輸入に規制をかけたことで組み立て台数は激減。

また、経済低迷による購買力低下、インフレ対策のための融資制限などもあり、自動車販売が急激に低迷。

2019年の自動車組み立て台数は459台、20年は107台、21年は8台、22年は76台、23年は61台と低迷した。

しかし、2024年の自動車組み立て台数は5,011台だったと報じられている。また、最近では「23年の自動車組み立て台数は614台で、前年比8,144%増だった」と報じられており、下グラフの61台と数字が合わない。

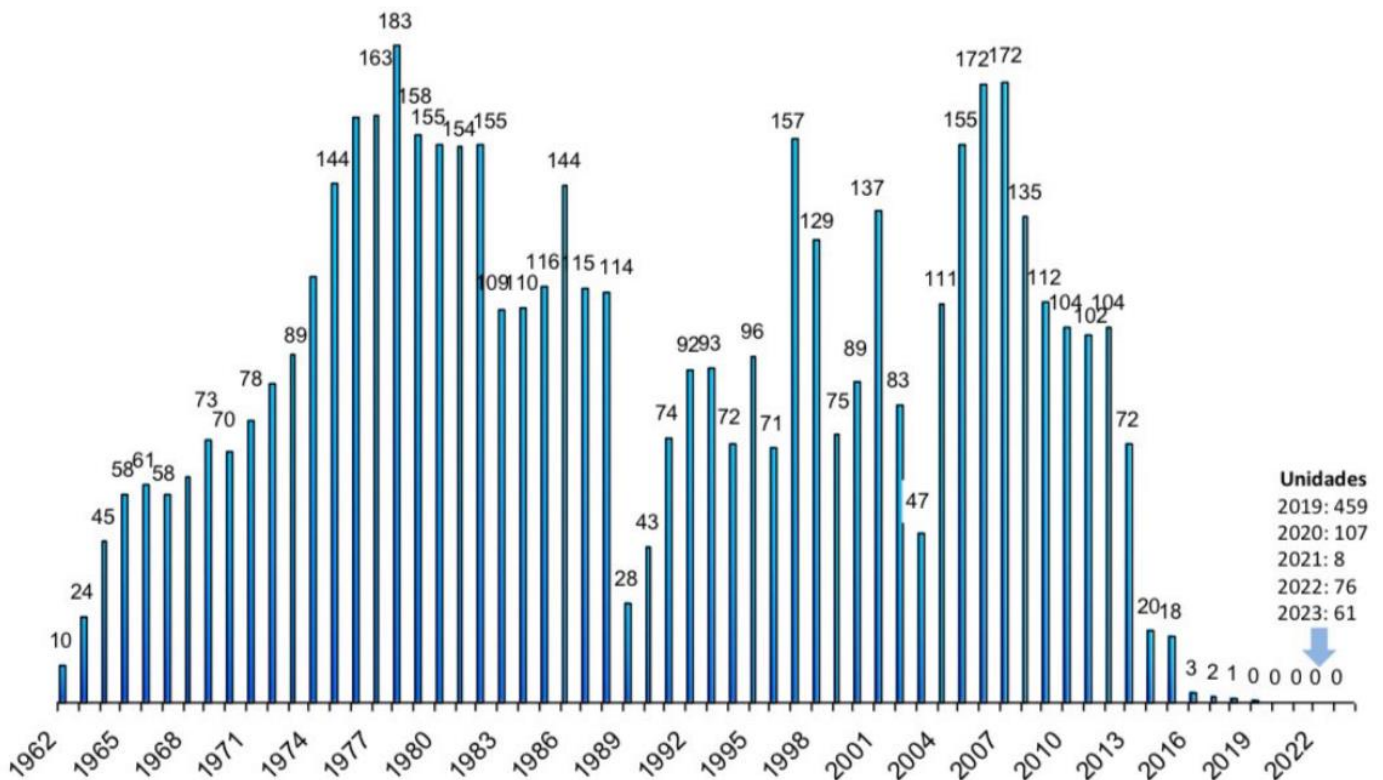
2023年の組立台数の誤差については、今後統一的なデータが出るのが期待される。

なお、筆者は61台という数字には「JAC Motors (安徽江淮汽車集団)」の組立台数が含まれていないのではないかと想像している。

報道によると、2024年の自動車組み立て台数のほとんどはJAC Motorsによるものだという。同社は、ベネズエラにおいて急激に販売を拡大したブランドで、新興企業のため、23年の組立台数データを取りまとめる際にカウントしていなかったのではないだろうか。

## PRODUCCIÓN HISTÓRICA DE VEHÍCULOS EN VENEZUELA

(Miles de unidades)



<https://www.favenpa.org/>

また、イラン企業に関してだが、2023年4月に Saipa と IKCO が資本参加している合併会社「Veneirauto」が、組み立て工場の稼働を再開すると発表していた(「[ベネズエラ・トゥデイ No.902](#)」)。ただし、実際に稼働を再開したという情報は確認できなかった。

## Chevrolet、Ford、Toyota がシェア争う

最後に自動車マーケットのシェアについて紹介したい。Favenpa によると、2023年の自動車マーケットシェアは下図の通り。

直近の自動車販売台数では「TOYOTA」が1位となっているが、過去「Chevrolet」「Ford」「Fiat」なども多く販売されていた。

自動車の買い替えが起きないので、これらの自動車は現在も使用されており、シェアでは Chevrolet が 28.5%、Ford が 17.7%、TOYOTA が 13.6% と 3 ブランドで約 6 割 (59.8%) を占めている。

なお、Favenpa は、23年時点でベネズエラ国内を走行している自動車台数は約 410 万台と認識している。

